

# STEP を終えて

北海道教育大学釧路校 学校カリキュラム開発専攻

2年 中山 慎哉

## 1 このプログラムに参加した理由

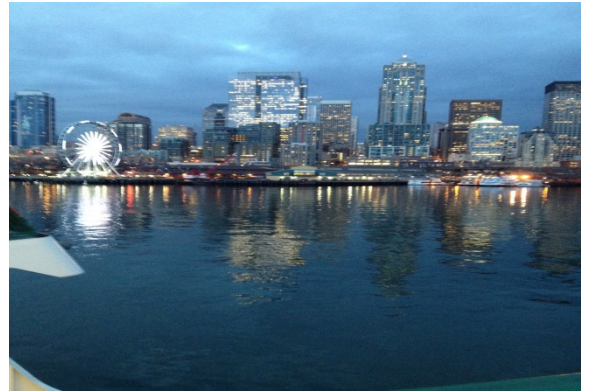
私は、将来中学校の英語の教師になりたいと思っています。しかしながら、今までで一度も海外に行ったことがなく、その機会が見つけられないでいました。英語教師になるうえで、海外経験がまったくないということは、外国の文化を教える、という観点からいうと生徒達に何も伝えられないのではないかと考えました。そう考えていたところ、この3週間の短いプログラムをみつけました。私は、部活動もしているので、短いプログラムで、海外の文化を体感してみたり、今の自分のスピーキングの能力がどのくらいなのか、試してみようと思いました。

## 2 プログラムの印象

プログラムは、大きく分けて二つの内容があったと思います。一つ目は、英語の授業です。もちろんのことですが、授業はオールイングリッシュでの授業です。最初は、日本語がわからない先生によるオールイングリッシュの授業に不安がありました。しかしながら、大学の先生方は、第二言語習得 (ESL) についてとても精通していた先生方でしたので、発音がとても聞き取りやすく、話すスピードが速くても、聞き取ることができました。内容に関しては、日常会話でのテクニックを教えてもらい、それをクラスの中で練習したり、また教室の外に出て、人々にインタビューをするという学習をしました。クラスの中で練習することは日本でもできますが、外に出て見知らぬアメリカ人に声をかけてインタビューをするというのは、シャイな私にとってはとても大きな課題でした。しかしながら、クラスメイトと協力しながらインタビューをすることができたので、無事インタビューをすることができました。ただ、インタビューをするなかにも、親切な人が多いですが、一方であそをつく人もいて、混乱した時もありました。日本に限らず、様々な地域に、様々な人がいるな、ということを感じた瞬間でもありました。

もう一つの内容は、火曜と木曜に午後に参加自由のアクティビティがありました。これは簡単に言えば、シアトルの有名な場所や、歴史を感じることができる場所に行くアクティビティです。私は、初めて来る場所であるし、自分自身で下調べをしなかった場所も行く予定であったので、すべて参加しました。このアクティビティによって、自分自身で行った場所とも合わせて、シアトルの主要なスポットは、ほぼまわられたのではないかと思います。ですから、もし行くべきところがわからないということであったら、ぜひ午後のアクティビティに参加することをお勧めします。

## ベインブリッジアイランドから帰ってくる時の夜景



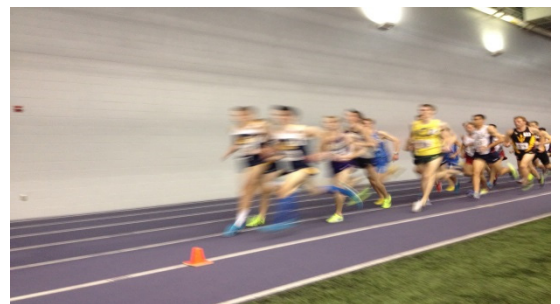
### 3 授業以外での私の活動

このプログラムは、週末はフリーとなっているので、事前にリサーチしていきたいと思っていたスポットに向かいました。カナダとの国境が近いことから、カナダのバンクーバーに向かう学生もいましたが、私はシアトル市内をめぐることにしました。私がシアトル巡りをしてお勧めしたい場所は、シアトルマリナーズのホーム球場である、セーフコフィールドのツアーです。このツアーは、\$10 とお得な価格にもかかわらず、記者会見場やロッカールーム、フィールド内などを見学することが出来ます。英語の勉強にもなるので、野球ファンならずともおすすめの場所です。

また、私は陸上部に所属しているので、アメリカの陸上大会を見たいと考えていました。ワシントン大学で運よく大会が開かれていたので、一日大会を見ているという日をつくりました。アメリカは学生スポーツがさかんであり、テレビ中継がよく行われています。私は陸上競技しか見ませんでしたが、この期間には、陸上だけでなく、バスケットボールやテニスが行われていました。入場料がかかるスポーツもありますが、学生ということがわかれば安く見ることが出来ます。海外のスポーツを見るということも、異文化を感じるということでもとてもよいのではないかと思います。

ホームステイ先の家では、積極的にマザーと話すように心がけました。英語しか通じないので、授業よりも会話の練習になりました。これから行く人は、家族とのコミュニケーションを大切にしてもらいたいと思います。

ワシントン大学内での陸上競技大会での写真。西海岸の大学がたくさん来ていました。選手と観客の距離が近かったです。アメリカのスポーツは、ファンを第一にした設定のようです。



### 4 プログラムを通しての感想

今回のプログラムにおいては、英語を使用する能力は、少し向上したかもしれませんが、しかしながら、たった3週間では流暢に話せるようには、当然ですがなりません。ホストマザーには、「確かに3週間でああなたの英語の能力は上がったと思うけど、まだまだです。もっと日本で勉強してきなさい。」と言われました。この言葉を聞いた瞬間、自分の勉強不足を実感するとともに、もっと勉強をしていかなければならないといけないと思いました。もう一度機会があれば、海外に行って、文化の違いを体感してきたいなと思います。

文化の違いについて考えてみると、改めて日本の素晴らしさも感じる事が出来ました。私はこの留

学が初めての海外だったわけですが、アメリカの方が良いと思う点や、日本の方が断然よいという点もありました。自分の母国に誇りをもつというのは、日本人は強く他の人に示すということは他国に比べてはありませんが、自分の国の良いところは持っていることの重要性を改めて感じました。自分は日本が大好きで、とても良い国であるということ、よく実感した3週間でした。

## 5 次回参加する人に向けてアドバイス

この留学は、ぜひとも1年生に行ってほしいと思います。語学力の制限がないので、長期留学を迷っている人におすすめです。お金はかかるとは思いますが、過ごし方次第でとても価値のあるものになると思います。また、このプログラムは日本人参加者が多いと思います。できるだけ英語をつかうことを心がけることが大切だと思います。

次は、実際のシアトルでの生活の注意事項を書きます。初めて海外に行くという人もいますが、シアトルに関しては、日本の大型スーパーのようなところがたくさんあるので、もし日本から持ってくる物を忘れたとしても大部分は調達できると思います。しかしながら、時代の流れもあり物価が高い傾向にあるので、日本で調達できるものは持って行った方がいいと思います。日用品がその例だと思います。最低でも必要なものは、スリッパ、歯ブラシ、ボディソープ、シャンプー、着替え、タオルだと思います。それ以外に自分の生活に必要なものはもっていきましょう。それだけでも心が楽になります。

移動手段としては、バスが主になるとは思います。U-PASSは\$120くらいの価格で乗り放題、Orca Cardは日本のSuicaのような電子マネーです。これは、通学距離を考え、ホストマザーとよく話し合い、どちらを買うか決める方がいいと思います。現金払いは大変だと思いますので、どちらかは購入することをお勧めします。

買い物をする際には、クレジットカードは必須です。VISAとMASTERのマークが入っているカードなら大丈夫でしょう。最低でも1枚は用意しておく、将来にも役に立つと思います。また、日本よりも治安が良いはずがないので、現金を持ち歩くときは、リュックとは別に小さなポーチなどを用意し、身体の前の方において持ち歩くと、安全だと思います。と言っても、現金はあまり持ち歩かず、\$100くらいが無難かなと思います。「ここは日本ではない。」という意識を常に持って行動しましょう。

ステイ先の家族は、配属されたところによって違うので何とも言えませんが、嫌なことは嫌だ、と言った方がいいと思います。日本人はやさしさが出て、あやふやにして嫌なことでも許してしまいますことがありますが、アメリカ人はそれを嫌うので、しっかりとYesかNoで答えることが重要だと思います。

写真はたくさん撮って思い出にしましょう。自分だけでなく、両親のためにとってくると、喜ばれると思います。

最後になりますが、私は日本に帰国した翌日に、虫垂炎になってしまい入院しました。運がよく日本に帰ってきてからでしたが、みなさんはアメリカで体調を崩す可能性がゼロではないということをしかりと認識してください。日頃からの健康管理、そして万が一のために、海外旅行保険には必ず加入しておきましょう。

良い留学になることをお祈りします。